

平成30年度「文化庁日本語教育大会・東京大会」実施要項

平成30年7月27日

文化庁文化部長決定

1 目的

日本語教育に関するシンポジウム及び報告会等を開催し、日本語教育に対する理解の増進を図り、もって、日本語教育の充実と推進に資する。

2 主催

文化庁

3 対象

- ・ ボランティア団体，NPO法人等の地域における日本語学習支援者
- ・ 大学・専修学校・各種学校，その他の日本語教育機関・施設の教職員・研究者
- ・ 地方公共団体（教育委員会を含む。）や国際交流協会の日本語教育・国際交流・生涯学習・社会教育担当者
- ・ 小・中・高等学校等の教職員
- ・ 大学等で日本語教育について学ぶ学生
- ・ 外国人を雇用している事業関係者
- ・ 外国人住民及び日本語学習者
- ・ その他，日本語教育に関心を持つ者

4 開催内容

○開催日：平成30年9月8日（土），9日（日）

○会場：文部科学省（東京都千代田区霞が関3-2-2）

○テーマ：

激動！日本語教育～人材が変わる，教育が変わる，学習者が輝く～

現在，国内に在留する外国人数及び日本語学習者数は増加している。こうした背景の下，日本語教育人材の需要は高まっており，それと並行して平成30年3月には「日本語教育人材の養成・研修の在り方について（報告）」（以下，報告）が文化審議会国語分科会により取りまとめられた。これらを受け，1日目には日本語教育に関連する外国人施策を各省庁から説明する。さらに，報告の教育内容を概観するとともに，現職として活動する日本語教育人材の研修の普及や課題について議論する。

2日目には，これから日本語教育分野で働くことを目指す人が，様々な日本語教育の分野で活躍している先輩から直接話を聞く場を設ける。併せて，日本語教育において関心が高いテーマについて実践報告を行い，現場での課題解決に向けた情報共有を行う。

○構成・内容：別紙のとおり

日本語教育大会（東京大会）

○ 構成・内容

第1日目 9月8日（土）	
時間	内容
13:00 ～ 13:10	開催挨拶（文化庁）
13:10 ～ 14:15	日本語教育に関連する外国人施策等について(関係省庁)
14:15 ～ 14:35	文化審議会国語分科会日本語教育小委員会の審議状況の説明
14:35 ～ 14:50	休憩
14:50 ～ 15:20	空白地域における日本語教室設置とコーディネーターの役割 ～佐賀県における日本語教室空白地域解消推進の取組から～
15:20 ～ 17:00	パネルディスカッション 現職日本語教師,「日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)」でどう変わる？
17:00	閉会

※当日会場では「生活者としての外国人」のための日本語教育事業 パネル展」を同時開催します。
(12:30～17:30)

第2日目 9月9日（日）	
時間	内容
10:00 ～ 12:00	「日本語教育人材のキャリアパス～現場で活躍する先輩に直接聞いてみよう！」 ※前日のプログラム終了後、会場で申込みを受付
12:00 ～ 13:30	文化庁日本語教育事業 説明会（12:00～13:00） 「IT・通信による日本語教育～ちょっとのぞいて触ってみよう！～」（12:00～13:30）
13:30 ～ 15:30	日本語教育テーマ別実践報告会 【第1分科会】日本語教師・初任（留学生）研修における日本語教育の専門性とは ～日本語教育人材の養成・研修の在り方について(報告)から見るその資質・能力, 教育内容～ 【第2分科会】日本語教育実習は, 何を「実習」させ, どのような能力を伸ばすのか ～大学, 日本語学校, 生活者の現場の視点から～ 【第3分科会】日本語教育は地域連携によるプログラム・デザインにどう挑んだか ～日本語教育と地域との連携から考察する～ ※8月31日（金）までに文化庁に事前申込み
15:30 ～ 15:45	休憩・移動
15:45 ～ 16:30	テーマ別実践報告会報告・総括
16:30	閉会